

# 攻殻機動隊 S.A.C. の OP をロシア語で歌いたい

@pecorarista

2015 年 4 月 4 日 (2015 年 7 月 28 日更新)

攻殻機動隊 ARISE の TV 版が今週から放送されるそうです。楽しみです。私が攻殻機動隊という作品に初めて触れたのは 2008 年ころにレンタルビデオ店で攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX の DVD を借りて見たときでした。名作と呼ばれるだけあってとても魅力的な話でしたが、それと同じくらい Origa の歌う不思議な雰囲気のアレンジ曲 *Inner Universe* が印象的でした。そこで自然な流れとして「この曲を歌いたい」という願望が湧き上がってきたのですが、この曲の歌詞の約半分はロシア語で、学習のコストの高さからずっと手をつけられずにいました。そんな状態でもう約 7 年 (初回放送から約 12 年!) が経ってしまいましたが、その間にロシア語の教材を買ったり、言語学の知識を身につけたりしたので「今ならいけるんじゃないか」と思い、記事を書きながら勉強することにしました。

このような背景で書いているため、間違いが含まれている可能性が高いです。もし参考にされる方がいらっしゃいましたらご注意ください。間違いを見つけた方は [pecorarista@gmail.com](mailto:pecorarista@gmail.com) までご連絡いただくと助かります。なお、この記事の作成にあたり、著作権を侵害することがないように十分に配慮しましたが、万が一侵害していることがあれば同連絡先にご連絡先ください。

この記事を作成した主な目的は、上記のように自分の勉強のためですが、私と同じく *Inner Universe* の歌詞に興味を持っている方や、インターネットを活用した語学の勉強法に興味がある方の参考にもなるように書いたつもりです。前提となる専門的な知識は設けられなかったのですが、どうしても記事が肥大化してしまうので、発音記号 (IPA) は知っている前提で書きました。もしご存知なければ「国際音声記号 - Wikipedia」で記号を調べながら読むといいかと思います。

## 1 Ангелы и демоны кружили надо мной

まずは「ロシア語アルファベット - Wikipedia」で、どの文字がどの音を持っているのかを大雑把に見ておきます。ロシア語のアルファベットはキリル文字で、これはラテ

ン文字や数学・物理学でよく使うギリシャ文字に似ています。なので雰囲気をつかむだけなら（アラビア文字やタイ文字などと比較すると）難しくないと思います。辞書は *Russian: A Linguistic Introduction* を買いました。これで語彙・文法については準備が整いました。今回の目標は歌うことなので、発音が分からなければどうしようもありません。辞書や文法書にも少し記述がありますが、もう少し詳しいものが欲しいです。そこで、Wiktionary は各々の語形の強勢の位置の情報も載っているのものでこれもかなりいい情報源になりそうです。ようやくすべての準備が整ったので歌詞中に出てくる単語を単語帳としてまとめていきます。以下でその単語帳の内容を紹介します。

- ангелы /'angɐl'ɪj/ 〈名〉 天使；動物・男性・複数・主格 ← ангел /'angɐl/
- и /i/ 〈接〉 と
- демоны /'dʲemənɪ/ 〈名〉 悪魔；動物・男性・複数・主格 ← демон /'dʲemən/
- кружили /krʊ'ʒilʲɪ/ 〈動〉 まわす、まわる (=кружиться)；複数・過去 ← кружить /krʊ'ʒitʲ/
- над /nəd/ （第 1 音節にアクセントのある語の前で /nəd, nəd/、無声子音で始まる語の前で /nət, nət/、ある種の子音結合の前で надо /nadə, nadə/）〈前〉 ～の上方で
- мной /mnoj/ 〈代〉 私；具格 ← я /ja/

発音の表記は、こだわり始めるときりがないので、厳密な音声表記ではなく、音素表記を教科書を適当に参考にしながら少し詳しく書いたものになっています。また、あまり一般的でない記号 <ɪ> を使っていますが、これは (Jones and Ward, 2011) においてバー付きのイオタで表されている /i/ の弱化した音として使っています。

“ангелы” を例にとって、ロシア語の知識がほとんど無い状態でどのようにして単語帳を作ったかを説明したいと思います。興味のない方は次の項から読み進めてください。まずダウンロードした dict.opcorpora.txt を Vim などの適当なテキストエディタで開き、АНГЕЛЫ で検索します。キーボードの設定は “Russian (Russian Federation)” よりも “Russian (US, phonetic)”<sup>\*1</sup> のほうがキーボードに印字されているラテン文字と押下したときに入力されるキリル文字が同じもののほうがすぐに慣れて使いやすいです。正規表現が使えるならば ^АНГЕЛЫ\t のように 後続の表現が行頭に現れることを表す記号 ^ とタブ文字を表す記号 \t を使うと早く見つかることがあります。さて、検索すると 178653 行目に АНГЕЛЫNOUN,anim,masc plur,nomn と書いてあるのが見つかります。NOUN は「名詞」ですね。anim はなんでしょうか。こちらを参考に

---

<sup>\*1</sup> これらの名称は私の使っている環境 (CentOS 7) での名称です。環境によって名称や設定の方法は異なります。

しました。こちらによると **anim** は “animate” であることを表しているようです。この “animate” はアニメグッズを売っているアニメイトではなくて、「生命のある」という意味の形容詞です。ロシア語では名詞を生命のあるものを指す名詞生命のないものを指す名詞に区別します。(宇多, 2009) では動物名詞と非動物名詞という用語を使っています。

ロシア語では名詞を**動物名詞**と**非動物名詞**に分類する。人間（および動物）と他のもの（植物をふくむ）を異質なものとしてとらえ、文法上区別するからである。

次の項目の **masc** ですが、これは “masculine” の略で名詞が「男性」であることを表します。ロシア語の名詞の「性」は「男性」「女性」「中性」の合計 3 つです。名詞の性は、日本語話者にとってはわかりにくい概念ですが、名詞が指すものの自然な性別（父や母など）や語末の文字で決まるもので語形変化に影響を与えるものです。つづく **plur** は plural の略で「複数形」を表しています。「単数形」は **sing** (singular) です。最後の **nomn** は nominative、つまり「主格」を表しています。ロシア語の格は主格 nominative、対格 accusative、属格 genitive、処格 locative、与格 dative、具格 instrumental の 6 つです。6 つは多いような気がしますが、日本語の「名詞＋格助詞」と同じようなものと考えるところまで多い気はしないと思います。**dict.opcorpora.txt** でグループの最初に載っている語形 “ангелы” で辞書を引き、意味を調べます。「天使」だそうです。確かに、そう言われてみると英語の “angel” に似ています。おそらく同じ語源なのでしょう。発音についてですが、博友社の辞典であれば [áng'íl] のように書いてあります。それ以外の辞典は見出しに ангел のように書いてあります。博友社のほうが詳しくていいのですが、慣れてくれば各々の綴り字が語のどの位置にあるか（語頭か語末かなど）や、強勢の有無によってどんな音になるかわかるので冗長に感じるでしょう。とりあえずこれで単語の 1 つについて必要な情報がすべて揃いました。同様の作業を 20 回くらい続ければ意味を理解しつつロシア語で歌うことができます。

動詞についても 1 つだけ、詳しく見ておきます。“кружили” を **dict.opcorpora.txt** で調べると **VERB,impf,tran plur,past,indc** と書いてあります。**VERB** から品詞は動詞だとわかります。**impf** は imperfective（不完了相）を表します。これと対になる概念として **perf** (perfective)（完了相）があります。「相」は言語学の用語で、動作の始まりや終わりなどを表す表現を指します。**impf/perf** については (Cubberley, 2002, p. 151) に以下のようなことが書いてあります。

The Imperfective is the unmarked partner, used where the aspect is irrelevant (a simple statement of fact) or not being emphasised (the emphasis being elsewhere, most often on the subject) (中略) . The Perfective form emphasizes completion and, by implication, a resulting state (中略) .

このあたりに深入りするとなかなか戻ってこれなそうなので、とりあえず「不完了相が基本らしい」ということだけを理解しました。tran/intr は tran (transitive) が対格補語をとれる動詞 (他動詞)、intr (intransitive) がそれ以外の動詞 (自動詞)であることを示しています。past/pres/futr はそれぞれ時制が過去 past、現在 present、未来 futureであることを表しています。最後の indc は直説法 indicativeであることを示しています。ロシア語の法にはこの他に、命令法 imperative と仮定法 conditional/subjunctive があります。命令法でも仮定法でもないものが直説法です。自分用の単語帳を作る上で、「不完了」や「直説法」のように基本的なものをいちいち書くのは効率が悪いので、ここでも省略して行きたいと思います。ここではそれ以外は省略せずに書きますが、勉強していくうちに見た目からわかる部分が増えてきて多くを省略できるようになってきました。

## 2 Разбивали тернии и звёздные пути

この文には実は問題があって、歌詞カードには上のように表記してあるのですが、実際は <http://d.hatena.ne.jp/cess/20070503> に書いてあるように *Рассекали тернии и млечные пути* と歌っているようです。ここでは後者の単語のみを調べます。

- рассекали /rəsʲsʲɪˈkaʲɪ/ 〈動〉切る、(水・波などを) 切って進む；複数・過去 ← рассекать /rəsʲsʲɪˈkatʲ/
- тернии /ˈtʲɛrnʲɪjɪ/
- млечные /ˈmlʲɛtʲɕʲnʲɪjɪ/
- пути /pʊˈtʲi/ 〈名〉道；非動物・男性・複数・対格 ← путь /ˈputʲ/  
— млечный путь 天の川、銀河

## 3 Не знает счастья только тот,

- не /nʲɪ/ 〈助詞〉(任意の文成分の直前に立ち、それを否定する)
- знает /ˈznajɪt/ 〈動〉知る；3人称単数・現在 ← знать /ˈznatʲ/
- счастья /ˈʃʲɪæstʲɪjə/ 〈名〉幸福；非動物・中性・単数・属格 ← счастье /ˈʃʲɪæstʲɪjɪ/
- только /ˈtolʲkə/ 〈副〉ただ、～だけ
- тот /tot/ 〈代〉(関係代名詞によって導かれる従属節の先行詞として、従属節の説明する人や事物をさす)(～ところの) その人・もの

## 4 Кто его зова понять не смог...

ロシア語がよくわかっていなかったなので、意外なところに属格が出てきてしばらく意味がわかりませんでした。文法書を見ると、否定される他動詞の補語は属格になるということが書いてありました (宇多, 2009, p. 102)。そう言われると上の “счастья” も同じ理由ですね。この記述を見つけられなければ大きな誤解をしたまま進めるところでした。なお、この否定される他動詞の補語に属格を用いる決まりですが、20 世紀初め以降は、一部で対格が許容されるようになっていて、今では共存している状況らしいです (同書)。

- кто /'kto/ 〈関係代名詞〉～する人 (男性単数扱い) ; 主格
- его /jɪ'vo/ 〈所有代名詞〉彼の、(男性名詞・中性名詞を指して) その
- зова /'zovə/ 〈名〉呼び声 ; 非動物・男性・単数・属格 ← зов /'zof/
- понять /pɐ'nʲætʲ/ 〈動〉理解する ; 完了 ← понимать /pənʲɪ'matʲ/
- смог /'smok/ 〈動〉できる ; 完了・男性・単数・過去 ← мочь /'moʦʲ/

## 5 Собой остаться дольше...

ここで発音がよくわからなかったのが “остаться” の-ться の部分です。 (Jones and Ward, 2011, p. 150) には

In reflexive infinitives ending in -ться the soft sign has no *phonetic* function. Such infinitives and the third persons singular and plural of reflexive verbs are pronounced, at normal conversational speed, with **ts**, and the letter я does not have the significance of ‘preceding palatalized constant’ which it would normally have after a consonant letter. (中略) As the speed of pronunciation decreases, the stop element of **ts** in such words is prolonged, until, in a slow, precise manner of speaking, such words are pronounced with the sequence **t-s**.

と書いてあります。t-s は/ts/のような1つの破擦音ではなく、/t/と/s/の連続を表します。(Jones and Ward, 2011) ではこの説明を踏まえ/ts/と表し、博友社の辞典は/tts/と表しています。ここでは前者の表記を使います。

- собой /sɐ'boj/ 〈再帰代名詞〉自分自身 ; 具格 ← себя /sʲɪ'bʲa/

- остаться /ɐ'statsə/ 〈動〉残る、とどまる；完了 ← оставаться /ɐstɐ'vatsə/\*<sup>2</sup>
- дольше /'dolʃɨ/ 〈副〉長く；比較級 ← долго /'dolɡə/

ここで具格が出てくるのは、何だか妙な感じがします。(Cubberley, 2002, p. 205) によると、コンピュータや、英語で言うところの“become”や“remain”のような変化に関する意味を持った動詞(“semi-copulative verb”などと呼ぶ人もいます。)は補語として具格を取るのが普通だということでした。“оставаться”はまさにその semi-copulative verb でしょう。これでまた 1 つ謎が解けました。

## 6 ...Бесконечный бег...

どんどんいきます。これは短いですね。

- бесконечный /bʲɪskə'nʲetʃnɨj/ 〈形〉無限の、いつ終わるかわからない；非生物・男性・単数・主格
- бег /'bʲek/ 〈名〉疾走、ものごとの早い経過；非生物・男性・単数・主格

## 7 Пока жива я могу стараться на лету не упасть,

残すはあと 1 文です。ここまで来たら最後まで頑張りましょう。

- пока /pɐ'ka/ 〈接〉～する間
- жива /ʒɨ'va/ 〈形〉生きている；女性・単数・短語尾 ← живой /ʒɨ'voj/
- я /'ja/ 〈人称代名詞〉私；主格
- могу /mɐ'gu/ 〈動〉できる；1 人称単数・現在 ← мочь /'motʃ/
- стараться /stɐ'ratsə/ 〈動〉努力する
- на /nə/ (第 1 音節にアクセントのある語の前で、または a, o ではじまる語の前では /nɐ/；特定の語結合で慣用的にアクセントをとる場合は /'na/) 〈前置詞〉～の上で
- лету /'lʲɪtu/ 〈名〉飛行；非動物・男性・単数・処格 2 ← лёт /'lʲot/
- на лету 飛行中に
- упасть /ʊ'pastʲ/ 〈動〉落ちる、転落する；完了 ← падать /'padətʲ/

<sup>\*2</sup> 語頭、または強勢の置かれる直前の <a> または <o> が /ɐ/ と発音されます。

“жива”について調べているとき、「短語尾」という見慣れない用語が目に入ってきました。文法書を読むと、ロシア語の形容詞には、短語尾と長語尾があり、文字通り語尾の長さに違いがあり、複雑な使い分けが行われているということがわかりました。大きな違いは、長語尾が限定的にも叙述的にも使える一方で、短語尾は叙述的にしか使えないということです。形容詞の短語尾形は、英語でいうところの形容詞“alive”のような使い方をするのだ、と私は捉えました。ここに出てきた“жива”はちょうど、英語の“alive”と同じ意味なので、もしかしたら何かしらの共通の背景があるのかもしれない。

「処格 2」は、特定の男性名詞が前置詞 в, на に支配されるときにとる処格の形です。「処格 2」という用語は一般的な名称ではありません。そもそも日本語で書かれたロシア語の文法書は通常「処格」ではなく「前置格」という用語を使うことが多いようです。

## 8 Не разучиться мечтать... любить...

前からの続きです。これで本当に最後です。

- разучиться /rəzʊ'ʧʲitsə/ 〈動〉(習ったことを) 忘れる、～できなくなる；完了  
← разучиваться /rɐ'zʊʧʲivətʂə/
- мечтать /mʲɪʧʲ'tatʲ/ 〈動〉空想する
- любить /lʲʊ'bʲitʲ/ 〈動〉愛する

## まとめ

ロシア語は、文字以外ほとんどわからない状態からのスタートでしたが、どうにか 1 週間程度で歌詞の発音と大まかな内容をつかむことができました。多少の音声の知識や言語学の知識は必要になったものの、これらは Wikipedia など、音声ファイル付きで勉強することができます。もし、今後、何らかの言語を急いで習得しなければならなくなったとき、これらの知識があると非常に重宝します。ただ、これらさえあれば、誰にも教わらずに言語が習得できるかというと、そんなことはありません。誰かに教わらずに（効率的に）語学の勉強をするには OpenCorpora や Wiktionary のような Web 上の資源が欠かせません。言語を習得するためのコストは（話者がある程度多い言語に限定されてしまいますが）ここ数年で明らかに小さくなっています。もしもあなたが、アニメ、音楽等の趣味の中で、意味や発音を知らないままにしている表現があれば、今こそそれを調べるための絶好の機会だと思います。

## References

- Cubberley, Paul (2002) *Russian: A linguistic introduction*, Cambridge University Press.
- Jones, Daniel and Dennis Ward (2011) *The phonetics of Russian*, Cambridge University Press.
- Origa and Shanti Snyder (2011) *Inner Universe*, 『攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX O.S.T.+』収録, フライングドッグ.
- 宇多文雄 (2009) 『ロシア語文法便覧』, 東洋書店.
- 木村彰一・佐藤純一・森安達也・栗原成郎・中村喜和・桑野隆・松井茂雄 (1995) 『ロシア語辞典』, 博友社.